

日本放送協会 理事会議事録

(平成28年11月29日開催分)

平成28年12月16日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成28年11月29日(火) 午前9時00分～9時15分

<出席者>

靱井会長、堂元副会長、木田専務理事、森永専務理事・技師長、
今井専務理事、坂本理事、安齋理事、松原理事、荒木理事、
黄木理事、大橋理事
上田監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

靱井会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 第1273回経営委員会付議事項について
- (2) 平成29年度国内放送番組編集の基本計画について
- (3) 平成29年度国際放送番組編集の基本計画について

2 報告事項

- (1) 考査報告

(2) 放送番組審議会議事録 (資料)

議事経過

1 審議事項

(1) 第1273回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

12月6日に開催される第1273回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、審議事項として「平成29年度予算編成方針」、「平成29年度国内放送番組編集の基本計画について」、および「平成29年度国際放送番組編集の基本計画について」です。また、その他事項として「平成28年秋季交渉の結果について」です。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(2) 平成29年度国内放送番組編集の基本計画について

(編成局)

平成29年度国内放送番組編集の基本計画について、審議をお願いします。

東京オリンピック・パラリンピックの開催で、日本が世界から大きな注目を集める2020年に、NHKは視聴者のために最高水準の放送・サービスを提供することを目指しています。29年度は、その目標に向かって大きく前進し、文化の向上と健全な民主主義の発達に寄与し、公共放送としての使命を果たしていきます。

まず、国内放送の編集にあたっては、事実に基づき、公平・公正で正確・迅速な報道、何人からも干渉されない放送の自主自律と不偏不党を貫きます。日本や世界の課題に向き合い、広範な取材ネットワークを生かして、わかりやすく丁寧なニュース・番組を視聴者に届けます。視聴者の多様な期待に応えて、見応えのある魅力的なコンテンツを開発・制作し、若い世代からシニア世代まで幅広く支持される多彩な番組を編成します。

また、頻発する自然災害に対応するため、防災・減災報道に万全を期

します。地域の課題に向き合い活性化に貢献するとともに、生活者の暮らしを守り、ともに生きる社会の実現を目指します。引き続き東日本大震災、熊本地震などによる被災地の課題を深く掘り下げ、復興を後押ししていきます。

さらに、次の時代を築く新サービスの分野に力を入れて取り組みます。本格的なスーパーハイビジョン時代に備えて、4K・8K番組の制作を一段と加速させ、放送文化発展の先導的な役割を果たします。また、デジタルサービスを一層身近で役に立つ形へと進化させ、利用者の満足度を高めるとともに、災害時の情報配信に力を入れます。

29年度、NHKは社会の関心や多様なニーズに応えて、魅力的なコンテンツと新しいサービスを創造します。より身近で信頼される公共メディアへと発展するために、挑戦と改革を加速させます。

編集の重点事項は、「1. 命と暮らしを守る報道に全力をあげ、被災地の復興を継続して支援」、「2. 日本や世界の課題に向き合い、判断のよりどころとなる報道・番組を充実」、「3. 視聴者の幅広い関心に応えて、見応えある魅力的なコンテンツを開発・制作」、「4. 東京オリンピック・パラリンピックを見据えて最高水準の放送・サービスの実現を目指す」、「5. 全国の放送局は、地域活性化に積極的に貢献」、「6. 日本を世界に、積極的に発信」、および「7. 多様な価値を認め合い、ともに生きる社会を実現する放送・サービス」の7項目です。

以上の重点項目の実施にあたっては、「国内放送番組編集の基本計画」が放送サービスとして実現されているか、録画視聴やインターネット利用も含めたNHKへのトータルな接触を把握する指標を活用し、より適切な評価・管理体制を作ります。また、スーパーハイビジョンの試験放送では通常番組（2K）との一体制作を拡大するなど、限られた経営資源を効果的・効率的に活用します。さらに、人材育成では放送倫理やコンプライアンス意識を徹底し、事実に基づく確かな情報と質の高い番組の提供に努めます。また、ダイバーシティ推進・働き方改革にも取り組みます。

本件が了承されれば、12月6日開催の第1273回経営委員会に審議事項として提出するとともに、12月19日開催の第632回中央放送番組審議会に諮問します。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、次回の経営委員会に諮ります。

(3) 平成29年度国際放送番組編集の基本計画について
(国際放送局)

平成29年度国際放送番組編集の基本計画について、審議をお願いします。

東京オリンピック・パラリンピックを3年後に控え、日本に対する世界の関心が一段と高まる中、海外発信のさらなる強化が求められています。

「NHKワールド」は、NHKの総力を挙げて、こうした期待や関心に応えていきます。正確で客観的なニュースや、幅広い良質なコンテンツを、テレビ、ラジオ、インターネットなど多様なメディアを通じて発信することで、世界の視聴者から選ばれる、魅力的な国際放送を目指します。

英語による外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」は、世界の注目が集まる2020年に向け、世界最高水準の国際的な公共メディアを目指します。29年度は、特に地域の情報の発信強化に重点的に取り組みます。ニュースでは、日本やアジアを中心とした情報発信のほか、世界の情報を的確に伝えるよう強化し、地域放送局と連携した全国各地の情報も海外に発信します。番組では、地域の魅力を紹介する番組の放送枠を拡大し、地方発のコンテンツを大幅に増やします。また、国内放送との連携を強化して、NHKならではの魅力的なコンテンツを発信し、訪日外国人向けに実用的な情報を提供する番組やサービスも開発します。

在外邦人向け日本語チャンネル「NHKワールド・プレミアム」は、ニュース・情報番組を通じて、日本と世界のいまを伝えます。大規模地震、津波などの自然災害、事件・事故などの際には、迅速に国内との同時放送を行い、海外で暮らす日本人や旅行者の安全・安心を守ります。

ラジオ国際放送「NHKワールド・ラジオ日本」は、日本語を含む18の言語で、最新のニュースや防災・産業技術・伝統文化・芸術や日本各地の話題などを全世界に発信します。また、在外邦人の安全・安心を支えるライフラインとしての役割をしっかりと果たします。

インターネットサービス「NHKワールド・オンライン」は、放送と連動して訪日外国人に向けた情報発信を強化します。また、モバイル端末向けアプリの開発・改善やSNSの積極的な活用を通して、「NHKワールド」が発信する情報や番組コンテンツを世界のより多くの人々に届けます。

本件が了承されれば、12月6日開催の第1273回経営委員会に審議事項として提出するとともに、12月20日開催の第631回国際放送番組審議会に諮問します。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、次回の経営委員会に諮ります。

2 報告事項

(1) 考査報告

(考査室)

平成28年10月24日から11月22日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース19項目、番組51本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、共和党のトランプ氏が、最後まで混戦となったアメリカ大統領選挙で事前の予想を覆し勝利したこと、安倍首相がトランプ次期アメリカ大統領と外国の首脳として大統領選後初めて会談したこと、福岡市のJR博多駅近くで道路の大規模な陥没事故が起き、周辺地域で停電や断水、ガスの供給が停止するなどの影響が出たこと、東日本大震災の津波で犠牲となった児童の遺族が津波の到達は予想できたとして訴えた裁判で、仙台地裁が学校側に過失があったと認め、市と県に賠償を命じたことなどがありました。

番組では、東京電力福島第一原発の会計資料や国の内部文書、政策決定に関わった当事者の証言から作業経費などを検証した、NHKスペシャル「2016廃炉への道 調査報告 膨らむコスト～誰がどう負担していくか」(11月6日放送)、今どき珍しい濃密な近所づきあいのある東京都立川市の都営団地を見つめた、ETV特集「困った時はお互いさま～孤独死ゼロ・大山団地の挑戦」(11月5日放送)、景気減速に苦し

み構造転換を模索する中国に迫る、NHKスペシャル「巨龍中国」シリーズの第1回、「一億 大移動 流転する農民工」（10月30日放送）、ももいろクローバーZが進行役となり、アーティストたちが“和楽器テイスト”で新たな音楽の可能性に挑戦する番組、「ももクロ和楽器レボリューションZ」（総合・11月3日放送）などの番組を考査しました。

また、国際放送では、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」のニュース4項目と番組2本の考査を実施しました。共和党のランプ氏が事前の予想を覆して勝利したアメリカ大統領選挙の速報を中継を交えて伝え、日本とアジアへの影響に視点を置いて解説した「NEWSLINE」（日本時間11月9日放送ほか）や、日本を訪れたい外国人に魅力的なプランを提案する情報番組で、今回は沖縄本島北部を訪ねた「J-Trip Plan The Seas and Culture of Okinawa」（日本時間10月24日放送）です。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

（2）放送番組審議会議事録（資料）

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国）の平成28年10月開催分の議事録についての報告。

注：放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成28年12月12日

会 長 靱 井 勝 人